

令和元年度 第1回大阪府泉州医療・病床懇話会 議事概要

日時：令和元年8月6日（火）午後2時から午後3時40分

開催場所：岸和田市立浪切ホール 4階 交流ホール

出席委員：15名（委員定数16名）

石田 正雄委員、今本 治彦委員、上野 寿江委員、鹿島 洋一委員、刀谷 久良委員
川口 貴子委員、小切 匡史委員、高田 信康委員、仲西 健樹委員、野上 浩實委員
前川 たかし委員、松下 晴彦委員、南 尚孝委員、宮下 律子委員、山下 静也委員

有識者：3名 大植 睦氏、松岡 哲也氏、山田 博明氏

■議題1 2019年度「地域医療構想」の進め方について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室保健医療企画課から説明

【資料1-1】2019年度「地域医療構想」の進め方について

【資料1-2】2018年度各地域医療構想区域における協議結果（まとめ）

【参考資料1-1】大阪府医師確保計画（骨子案）

【参考資料1-2】大阪府の医師偏在指標・目標医師数・必要医師数（国提示）

【参考資料1-3】大阪府医師確保計画の策定に向けた今後の方針（たたき台）

【参考資料2】第7次医療計画における既存病床数の修正について（報告）

（質問）

- 地域医療構想について、国の重点地域はどこになるのか。泉州地域は該当するのか。

（大阪府の回答）

- 現時点では、国から重点地域についての情報は示されていない。重点地域の調整会議に国が参加して議論を活性化するとされているが、重点地域に指定されない二次医療圏についても、診療実態データの分析結果から病院名が示される予定と聞いている。当初、国は年央に情報提供するとしていたが、提供時期は明確に示されていない。

（質問）

- 大阪アプローチとして昨年表示されたものを、今後、大阪府はどのように活かしていくつもりなのか。

（大阪府の回答）

- 国の重点地域の対象地域に指定されると新たな作業が必要となるが、病院連絡会の基本的な進め方は変わらない。データだけでなく、地域の実情や現場感覚も含めて将来のあるべき姿を議論したいと考えている。公立・公的病院については、政策医療を担っているかなどの確認が必要となる。

（質問）

- 泉州地域では、回復期リハビリテーション病棟は、北部に多く中・南部には多くないように思うが全体では充足しており、地域包括ケア病棟は不足していると思っている。回復期の定義がはっきりしないが、南地域の回復期病床は足りており、急性期は不足しているように思うが、このような状況をどう考えるのか。

（大阪府和泉保健所の回答）

- 泉州圏域の現状について、次の議題2で事務局から説明する。昨年度も、同様の意見をいただいております、それらを踏まえて、今後の病床機能のあり方を検討していきたい。

(質問)

- 現場の実態として、医師数は圧倒的に足りないと感じており、充足していると思われるのは問題である。調査方法に問題があるのではないか。数値は国が出すとしても、府がそれをそのまま受け取ってしまうと、夜間勤務や時間外勤務などの働き方改革を求められる中、病院としては危機感を感じる。今後、府が受け入れる研修医の減少や専門医にも関わってくることはないのか。

(大阪府の回答)

- 国は、研修医の配分や専門医のシーリングに、医師偏在指標を使ったデータを使っている節がある。現場から医師が足りないという意見は多数聞いており、大阪府としては、実態把握する観点からも、しっかりした独自調査を行いたいと考えている。

■議題2 泉州二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況と課題

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明。

【資料2】泉州二次医療圏「地域医療構想」の進捗状況と課題

(質問・意見)

特になし

■議題3 外来医療計画の策定について

資料に基づき、大阪府健康医療部保健医療室医療対策課から説明。

【資料3-1】大阪府外来医療計画（骨子案）

【資料3-2】外来医療計画の概要

(質問)

- 初期救急体制の課題は、2次救急にウォークインの初期救急患者が混在していること、また、小児初期救急広域センターが、北部・南部の2か所でありそれ以外はないに等しい状況であること。今後、外来医療計画において、初期救急のことについて、どのような方針で進めるのか。

(大阪府の回答)

- 外来医療計画では、今後の体制を検討するため、外来医療提供体制の見える化していく。初期救急センターの設置状況や、夜間18時以降に診療している医療機関等を見える化し提示していくので、データを見ていただき、二次医療圏の方向性について意見をいただきたいと考えている。

(質問)

- 大阪府は、現状の医療機能について、見える化を行うだけではなく、新しい施策も考えていく方針なのか。

(大阪府の回答)

- 見える化についての結果が出ていない現状では答えにくい。外来医療計画については、今後のあり方をまとめていくものと考えている。

■議題4 地域医療介護総合確保基金事業について

資料に基づき、大阪府和泉保健所から説明。

【資料4-1】地域医療介護総合確保基金（医療分）について

【資料4-2】地域医療介護総合確保基金事業一覧

【資料4-3】医療・病床懇話会において意見を聴取する基金事業（案）の概要

(質問・意見等)

特になし

■全体を通じての質問・意見

(質問)

- 公立・公的医療機関の代替機能（統合再開）に関しては、どのように進められていくのか。

(大阪府の回答)

- 公的・公立病院に担うべき役割があり、民間の医療機関で担える機能であれば、そこは機能を集約していくべきというのが国の考え方である。府としては、民間の医療機関で担える機能は民間でしていただくことを基本として、分析したデータをもとに懇話会や病院連絡会等で、今後の医療提供体制について圏域毎に協議検討し、取りまとめていきたいと考えている。

(質問)

- 大阪府は、国からのデータをもとに、公立・公的医療機関の機能分化や統廃合を促進する方向で、指導的立場で進めていくという考えなのか。

(大阪府の回答)

- 集約や統廃合を前提には考えていない。データが出てからになるが、データを基に地域の意見や議論を行って、どのような方向が良いかについて考えていく。

以上